

令和3年12月11日

東京 憲法を起草する会
第三回 議事録

書記: 本田

14:30 - 大石さんよりご連絡

情報共有システムの導入について

- ・「グループウェア」「グループチャットツール」を検討。
- ・そのようなソフトウェアやシステムに知見のある方、また、システム構築・管理者・運営・盛り上げをしてくださる方は、立候補いただきたい。
- ・その他の機能についてアイデアがあれば、共有いただきたい。
- ・ご連絡先 info@musubinosato.jp

要件

- ・グループチャットができること
- ・メンバーを限定でき、パブリックに公開されていないこと
- ・スマートフォンを主に使えること
- ・グループ活動にも対応できること
- ・イベントカレンダーの共有ができること
- ・無料もしくは安価なツールであること
- ・シンプルで使い勝手の良いもの

14:40～16:00 参加者間での情報共有

※参加者間での情報共有について、Youtube等での公開は避け、会中のみでの共有に限りたい方は事前にお申し出ください。

GLO 松木様

GLO (Government Like Organization): 政府の責任感を持って新しい日本を目指そうとする組織

～具体的な活動について動画にて紹介～

Youtube [いよいよ日本が立ち上がる時が来た](#) モデル都市推進本部より

GHQ戦略に対する課題意識

- 捏造、洗脳による教育破壊。自虐史観やマスメディアによる情報操作。
- 極端な個人主義の蔓延により、国や社会に対する責任感や、和をもって尊しとする精神が持てず、分断・弱化が進んでいる。
- 一部のパワーエリートによる侵略、支配。

GLOの具体的な取り組み

- 新しい教育制度
 - ・正しい歴史観・国家観を教え伝え、自虐史観を取り除く
 - ・修身・道徳の復活
 - ・教育現場で起こる競争廃止や管理社会における全体主義に歯止めをかけ、知識中心教育から実学を重視した教育へ挑戦

- モデルを作るべく、北海道の地で活動を開始
 - 1) 家族分断に対抗する家族連帯制度
 - ・勇退世代が知恵、技術、経験、資金を提供してくれる一方で、若い世代は年配の方々の面倒を見る。世代継承を重視し若い世代に教え伝える。
 - ・家族の温もりを感じながら生活を送ることができる安心した生活を提供。
 - ・幼児、子供から大人、ご高齢者まで、一緒に暮らしていくことを目指す。
 - 2) 実体の価値の復活
 - ・衣食住・エネルギーの完全自給。北海道の地を使って農業を行い、自給自足基盤を構築。
 - ・北海道の農業従事者は平均年齢60才。より若い世代が農業に従事していけるような環境や仕組みを構築。

- 八紘一宇の精神で家のような社会を築いてきたのが日本であり、そのような社会の復活を目標としている。
 - ・「モデル都市構想」プロジェクトを実施
 - ・ホームページにて動画を配信 (<https://tasuke-i.jp/>)
 - 第一章「我欲侵略の世界化」
 - 第二章「欲望主義と愛情主義」
 - 第三章は以降はホームページより感想をお送りいただければ閲覧可能。

ご質問

- ・見学は可能ですか？
 - 松木さんへご連絡すれば、施設の見学は可能です。
- ・東京憲法を起草する会でのコミュニティづくりを、GLOさんの北海道の地でやろうということでしょうか？
 - 北海道はあくまでもGLOの具体的な取り組みの一例です。ご興味がある方がいればぜひご参加ください。

Hiphopアーティスト 神楽様

先の大戦、敗戦の大號

GHQの戦略

- GHQによるWGIP(War Guilt Information Program)について情報収集をしているうちに、先の大戦に対する印象や理解が、これまで話されてきたものと大きく違ったことに気づいた。

例)

- ・日本人は塩分をよく取るため粘り強いと言われていたため、日本の食卓から天然の塩を取り除き、化学性の塩分にすり替えてきた。
- ・日本人男性は母親との絆が強いと言われていたため、赤ちゃんが生まれた瞬間に母子を分ける、という仕組みを取り入れた。生まれた瞬間に母子を分けることで、愛されていないという潜在意識が芽生える、ということの研究した上で行った。

先の大戦について

- 使用可能だった原爆:昭和19年末から使用可能な段階に入っていた。杉山某参謀総長は、ハワイに原爆を落とせば敵を殲滅できると上申したが、昭和天皇は強く反対。
- 無傷の陸軍将兵720万人:トルーマン日記・マッカーサー回顧録に記載。日本の国土の大部分は山地のため、本土決戦となった場合、天然の要塞となり深いゲリラ戦になる。日本本土と外地に出ている無

傷の兵隊は720万人おり、彼らが集結し決戦したら勝てる見込みがない、という想定を米国はしていた。

- 戦闘機: 日本米海軍が、終戦後実際のどのくらいの戦闘力があつたのか調べたところ、7795機の戦闘機が残っていたことが判明。コウリュウという特殊戦機の準備もあつた。
- 燃料: パイン・ルートオイル、松ヤニオイルなど、向こう10年分の戦闘に必要な燃料を確保していた。

先の大戦に対してここまでの準備をしておきながら、日本は戦わず、武装解除した。だからこそ、陸軍将校は、8月14日徹底抗戦を主張した。

しかし、戦後、「日本は戦う能力がないのに無謀な戦いを主張し、9条事件というクーデターを行い、自決した」というストーリーでメディアや教育にて伝えられる。

自身の思い

このような経緯を学んだとき、なぜ昭和天皇は決戦を止め、武装解除したのか、と憤りを感じた。決戦をすれば日本の誇りは捨てられなかったかもしれない。日本人は命がけで戦い、それで負けたらいいじゃないか、日本人の精神性や文化がここまで壊れることはなかったのではないかと考えた。

しかし、終戦の詔を何度も読み返したところ、その意識が変わった。「朕何を以てか億兆の赤子を保し、皇祖皇宗の神靈に謝せむや」という文言より、昭和天皇は、核戦争を拒否し、日本人はもちろん世界中が荒廃し、犠牲になることを拒まれたのではないかと推察した。当時の天皇や日本の中枢はこのような認識を持って、決断をしたことを理解した。

自身の活動について

昭和天皇も旧日本陸軍も日本を守りたい、文化や誇り、精神性を守りたいという強い気持ちを当然持っていた。双方とも、戦争に勝つか、講和に持ち込まなければ、完全支配されてしまう。お金持ちたち(パワーエリート)の家畜に成り下がってしまう、という認識はあつたからこそ、このような決断をされたのだと理解している。両方の想いを抱きながら現代に生きることが大事ではないかと考えている。

善と悪の二元論ではなく、可能性と選択肢はたくさんあるということを子供に伝えたい。日本はあえて矛を下ろした、という理解が正しいのではないかと、そのようなことを伝えていきたい。

このエピソードを歌と映像にして子供達に伝えたいと思っています。脚本と仮歌はあり、スポンサーを募集しますので、よしと思われる方がいれば、是非ご連絡ください。

「目覚マセ / 神楽」<https://www.youtube.com/watch?v=89qPWL7yvyE>

親父さんより

次回以降も、同じような目的を持って、違うスタイルで活動をされている方がいらっしゃれば、ご紹介いただければと思います。そういった小さなコミュニティや会合を結集していくことも、この会の一つの目的となります。

15:39 - 15:45- 休憩

15:45 - おやじさん講話

本会の目的について

憲法起草の会と謳っていますが、現憲法の議論をいくらしても現代の流れを考えるとタイミング的に遅すぎると感じます。この会も「日本自治会」というテーマで進めていこうと考えています。

本会には、グローバリズムが描く未来じゃない未来について、考えをお持ちの方が様々な分野にいらっしゃる。個々の力を団結して結集していかないと間に合わない可能性もありますので、出来るだけ自身の活動を紹介してもらって、お互いを認識していただきたいです。自身がやっていることを競合するのではないか、ということではなく、それぞれの活動をそれぞれが助け合っていく方が絶対にいいと思います。

今年を振り返って

1) 継続されるコロナ禍の規制

去年の末頃からコロナによる規制が継続。最近もオミクロン株によって再度盛り上がりを見せています。実は、日本人の総死者数は、去年は減ったが、今年は急増。死亡者数が8万人の数字が見えています。その死因は何なのか。今年日本で起きた大きな出来事はワクチンの接種。その因果関係についてきちんと調べた方が良いのでは、と感じる今日この頃です。

2) グレート・リセット

日本国内の政策でも急ピッチで進んでいる。

・漁業法改正 伝統的な水産資源の管理方法を大きく刷新。漁業権の証券化され、売買の対象は外資も許可。日本の漁業権が完全に市場化された。

・種苗法改正 従来農家は種子を自家増殖をしていたが、小さな農家であっても自分で種子を作っていくことが違法化された。

・銀行法改正 従来銀行は融資が本業務であり、投資には制限があった。また外資銀行が国内で活動することは厳しく規制されていた。コロナ禍の救済措置という名目で、銀行による企業投資100%の許可や外資銀行の活動許可が行われた。地方の優良中小企業が外資の子会社化することも可能となっている。

・食品衛生管理法 HACCPと呼ばれる規制強化。個人商店として食品を製造していた人々の営業が非常に厳しくなっている。

3) 急速に進む管理社会

・デジタル庁の発足とデジタル庁による各省庁のデータ一括管理。マッキンゼー出身のデジタル官長。

・地方行政の全業務デジタル化完了が2025年までに目標設定された。便利に感じられるが、データ管理は民間のプラットフォーム(AmazonとGoogle)を使う。すなわちAmazonとGoogleが日本行政、国民全ての生活データを全て管理(Governance)する仕組みが進んでいる。

・ワクチンパスポートは、憲法上の問題で行政ではあまり進捗が見られないものの、民間で関連ツールが膨大に発生してきている。管理する側として便利なシステムが構築されつつある。

4) 顕著な格差社会化

・世の中の価値はマネーで評価される仕組みになっている。お金を持っている人間は価値がある人間、ない人間は価値のない人間、というような評価が進んでいる。

・世界的富豪はこの一年間で資産が倍増している。資産の偏向が異常。

・ファイザーは4兆円超の売上を出した。(4兆円は自衛隊本体の予算とほぼ同等)

5) 社会的なグレート・リセットへの加速

・社会経済構造、法律、政策、組織パターン、文化的障壁、社会そのもののグローバルなプロセスを加速させる。

・DX化の目論見として、文化・風土を”変革”・”破壊的”に変える、という文言が提示されている。

・NHKなどのメディアを通じて社会的にも扇動。

現状の把握

1) 大衆洗脳のプロセスと条件

マスコミュニケーション手段を独占し、独占したメディアより、聞きなれない言葉をしきりに発言する。聞いたことがないから「そうなんだ」と素直に受け入れ、それについて詳しく調べない。。ここで、回路形成が成される。回路形成段階では”印象”を根付かせる。それを持続させるために制度化する。制度化することで、持続性が生まれる。

2) 世界規模でのグローバリゼーションの制度化

近代以降の歴史の中で、Nation State「(契約社会における)国」が国際政治の唯一の存在だったが、現代は新世界秩序の中でNation Stateは消えていく。仮に残ったとしても、国際政治の存在としては消え、ローカルでの実行部隊として残る程度である。

・国家は国際問題を決定するポジションになく、世界経済フォーラムのような会合で世界の仕組みが決定される。

・市場化を拒む性質を持っている国に対する措置として、①指導者を買収する ②脅迫 ③暗殺 ④反政府活動(プロパガンダからの内戦、そして戦争)というプロセスでグローバル化に持ち込む。日本においても、占領下においてNHKラジオなどを用いて、洗脳化を進められてきた。

・政府転覆後には、プロパガンダによる圧力と政策スタッフを選定・管理を行う。国民が選んだはずの代議士が決めたことではなく、有識者会議で決まったことが判断となる。

・その後、法制度を確立することで管理体制が完成する。

3) コロナ禍の中で我々が置かれている状況

・恐怖により、相互不信・対立を起こす。ソーシャルディスタンスによって人と人とを分離させる。

・恐怖により、孤立化・非社会化を促す。新しい生活様式と銘打ち、社会的な活動やコミュニティ活動を行わないことを推奨する。

この二つの動きはグレート・リセットに向かうプロセスで、現在国民はこのプロセスの只中にいる。

4) アングロサクソンの性格の紹介(バーナード・ショウより)

以下の文章は、バーナード・ショウがアングロサクソンの性格を表した記述である。日本人的な考えでは「そんなこと考える人がいるのか？」と思うだろうが、今世の中を管理しようとしている人たちがどういう性質にあるのか、ということを紹介している文章。日本人とは全く異なる彼らの本質を理解しておく必要がある。

投影資料参照「アメリカ国民性の基調としてのアングロ・サクソンの性格」

ブルーリボンの会(拉致被害者救出の会)をにおいても、アメリカやイギリスは自分の自衛権の発動と称して、やりすぎのところまで平気でやる側面がある。彼らは堂々と自衛権の発動を主張し、国際的にいくら批判されてもめげないような節が見られる。

英国博物館に英国のものは一つがないが、それに対してなんの罪悪感もなく、「自分たちがそれを保全しなければならない」という正義として行う。

国家や個人の自律性を失くす時に「相互依存」という言葉を使う。相互依存を深めることで戦争は起きない、という理論をもとに、強いものが弱いものを依存させることで、管理・コントロールし、依存体質を埋め込もうとしている。

ピューリタン派の人たちは優生学(悪質の遺伝的形質を淘汰し、優良なものを保存すること)を真面目に信条とおいている。

現代において、法は遵守しないといけない、と刷り込まれているため、法制化されると手も足も出ないと感じてしまう。西洋では”Winner takes all.”の文化があるが、日本では”三方よし”(売り手、買い手、世の中みんなにとって良い)の文化がある。

現実には認識しつつ、悲観的になったりギブアップする必要はない！

日本自治会というテーマで活動を行う

ステップ1: 在所共同体を自分自身で作っていく

日本という国は、大国主神様の国づくりから国譲りまでの間に、グレート・リセットのような形を取らずに、在所共同体を活かして、国をまとめてきた。

地域地域の共同体、自分が生きているその場で共同体が実存する、その場で自分たちが自律的に生きていく、という仕組みが必要。その仕組みを世界で最も長く持ってきたのが日本人。

個人で投票して多数決で決めるような仕組みでは、今の仕組みを突破することができない。

会社でも町内会でも文化講習会でもなんでも良いので、その中で一緒にこのメンバーで生きること考える、という想いで集まれば良いと思います。

等価価値交換という尺度を排除し、共に生きる

何かを貰ったら同じ価値のものを返す、ということではなく、そのグループの中で一生懸命みんなで生きようとするだけでよい。昔は家を作ると言えば村中みんなで作るものだったから茅葺の屋根などが作れた。みんなで一つのことをやる、という喜びを覚える場を作りましょう。

ステップ2: 天皇を中心に各々の在所共同体が結集

在所共同体をそれぞれが作り、それぞれがつながる。日本には幸い、天皇という方がいらして「しろしめし」してくれる存在がいる。国民の生活や思いを一生懸命、理解してくれ、思いが実現するように祈ってくれる。我々はその天皇を中心にして集まれば良い。そこには、法や制度は不要で、思いだけで集まる。思いを一緒にする地域地域がいて、心を一つにして頑張っていけば、良い国づくりになる、と信じれば良い。

八紘一宇が自治会の目的

天の下でみんなが家や家族のような社会を作ろうと頑張る。そのような社会を達成することが目的でなく、そのような社会になるよう、みんなが頑張っているところに素晴らしさがあるのではないだろうか。

ステップ3: 日本自治会の政

在所共同体全体で必要なことがあれば、それぞれ集まり、衆議で決定する。多数決ではなく、落としどころを皆で探る。専門家のようなエリートは専門的なアドバイスにおいては必要だが、意思決定やリーダーとしての立場は不要。

日本人の場合は、文書に頼らずとも、民主的に意見をまとめることを文化として構築してきた。各共同間で係争が起こらないように努め、国内外の共同体に対しても八紘一宇の立場・振る舞いで付き合っていく。それでも戦いに挑んでくる人たちがいる場合は荒御魂を宿して、一生懸命戦う。

ステップ4:日本自治会と世界

このような活動を通じた結果として、世界の人々が八紘一宇の考えに共感し、世界がそちらの方向性を向いていくと素晴らしいと思います。

終わりに

日本人がこのような活動に一生懸命エネルギーを費やせばこの状況も変わる、と楽観的に信じていくことがすごく大切だと思う。コンセプトから始めると強制力が必要になるので、皆で一生懸命取り組んでいった道に残ったものが、自分たちのあるべき憲法となるのではないか、と思います。

16:55 ~ 17:20 衆議

本日お話いただいた4名と親父さんが話したこと、またそれ以外のことで良いので、周りの方々と議論をしてください。グループを作り、25分間議論を行います。

17:20 ~ 発表

グループ1: 八木様

現在の世の中の状況は、2025年ほどまで続くと思いますが、落ち着いて引いてみて、私たち自身が世間の影響を得ず、楽しく元気にニコニコして生きることが大事で、皆でそれまで踏ん張って生きればいいですね、という話ことができました。

グループ2:

モデル都市構想の土地をどうやって手に入れられたのかという話から、私自身も2400坪の土地の活用を国会議員に投げかけているところで、小さな子からご年輩まで役に立つようなことが何かできないか、という雑談をさせていただきました。

グループ3:

笠間さんより前回発表いただいた内容の詳細を聞いたり、今回のコロナ騒ぎについても教えていただいたり、皆さま一歩踏み出したところで活動されていることを知り、非常に刺激になりました。

グループ4: 森としえ様

友人がブログにNHKについて投稿したところで、NHKから名誉毀損の1000万円の告訴があり、言論封殺の波が来ていることを感じています。その話についてグループ内で共有させていただきました。私自身も仲間とともに、12/18(土) 14:00より、渋谷神宮通りでデモを行いますので、ぜひご参加ください。

グループ5: 西山様

様々な職種や立場の方がいて、それぞれがやりたいことは何なのか、という話を共有させていただきました。

グループ6: 小野様

古事記の話や自衛官の方などがいて、様々な雑談をさせていただきました。

グループ7: 井澤様

9名それぞれの自己紹介をさせていただきました。私は三重から東京に来て参加させていただきましたが、祖父の着物を着て、靖国神社に参り、奉納することが東京に来た目的でした。みなさんが楽しく元気に生きることが奉納になると思います。

グループ8:

みなさんがワクチンを打たないようにするためにはどうすれば良いか、子供が打たないようにするためには、3回目の接種に備えて何が出来るか。小さなグループで抵抗して、ワクチンを打たずに楽チンな生活ができれば、という話をしました。

グループ9: 山田様

それぞれ自己紹介とされている活動について聞きました。皆さま自主的に活動されています。参加者の一人が看護の仕事をしていたので内情を聞くと、病院でワクチンを推進している医者に偏りがあるような話も伺いました。

私自身も、新型コロナウイルスは存在しない、という文書もTwitterで流れていたため、その文書が正式なものなのか調査もしたところ、その文書の信頼性が高いことが判りました。PCRの偽陽性の確率も高いことも鑑みると、やはり新型コロナウイルスは疑わしいものだと思います。

結局のところ、新型コロナウイルスが何なのか、ということを見ると、やはりグレート・リセットや管理社会化に繋がっているのでは、というお話をグループでさせていただきました。

グループ10: 福島様

これまでの起草の会の流れをお話したり、武士道の話、子供がうつむいて歩いていて可哀想な世の中だよね、という話、恥の文化がなくなってきたよね、という話をしました。

グループ11: 工藤様

自己紹介をし、なぜこの場にそれぞれが参加したのか共有しました。

グループの中に記者の方がいらして、行政やメディアなどにおいてもかなり他国が侵食していることも話してくれて衝撃を受けました。自分自身もSNSを通して働いていたこともありますが、アフィリエイトなどの実情(お金を払えば人気のように見せられる)も知り、世の中の実情を知るとともに、このような会合でみなさんでお話できることが貴重だと実感させていただきました。

グループ12: 休場さま

在所共同体について話をしました。既にそういう共同体にいる方もいれば、私のようにこれからそういう場所に飛び込もうと思っている方もいました。私自身は休耕田の稲作を使って、会社の皆さんで盛り上げていこうというお話を聞いて、それも非常に良い方法だなと感じました。

親父さんより

みなさんでお話している時間が、一番良い顔をされているので、これからもみなさんでお話しする時間を作っていきたいと思います。

むすびの里の勉強会で出た案ですが、本会の主催者である勝俣さんが、有志を募り、皇居の周りを提灯を持って練り歩く、ということを早速やってくれています。

これは、大塩平八郎の乱の時代に、格差社会などの社会問題があったため、光格天皇の御所の周りを京都の民衆が歩き出しました。当時、ご法度により天皇が政治に口出すことが禁じられていましたが、人々が天皇さんの周りを提灯を持って歩き出したので、天皇も京都の人々の思いを汲んで、徳川に対して、民衆に救済の手を差し伸べなさい、という政治的な指示を出しました。

それに見習って、国会の周りをデモ活動するよりは、天皇さんの周りを提灯持って歩くのがいいのではないかと、という話になり、毎週金曜日の夜に周っているそうです。そういう活動に参加するのも良いと思います。

みなさんがそれぞれの形で、親である天皇さんを囲い、活動をしていくと良いと思います。活動を通じた経験や知見を共有して、お互いの活動を推進していく、協力していくことが自治会の目的です。あまりルールなどは設けず、問題が出たらその場その場で衆議していく形にしたいと思います。

明治時代の選挙では、個人に一票ではなく、家に一票でした。そこに衆議の文化がありました。みんなで意見を調整して、うちとしてはこのような考えです、という仕組みにしたいと考えています。

最後に

大楠公の旗印「非理法権天」 非は理に勝たず、理は法に勝たず、法は権に勝たず、権は天に勝たぬ

自然の秩序には歯が立ちません。歴史的な大きな道筋に立ち、我々は天皇という非常に希少な日本の中核たる存在をいただいているので、そこを拠り所にして、ニコニコしながら正々堂々と暮らしていく。みなさんの力を合わせて、いい社会を作っていきたいと思います。

「赤穂浪士討ち入り」の番組が流れるシーズンに入りましたが、今はテレビでもやらなくなり、日本が大事にしていた法を超えた正義が希薄化しているように感じます。しかし、なくなっちゃいけないと思います。元々、日本社会ではお金に大した価値はありませんでした。現代はお金に価値付けすることで、今のポジションを取っているのので、その価値感を変える、認識し直す、ということを地道にしていくことが非常に大事だと思います。ニコニコ頑張って、悲観せず、頑張っていきましょう！

荒谷流武道稽古のお知らせ(小野さんより)

東京憲法を起草する会の翌日の日曜日に、親父さんより荒谷流武道の稽古をいただいています。

現在、30人定員程度の会場しか予約が取れず、もし、地元で広く使える柔道場や体育館があれば確保をお願いしたいです。また12/26(日)午後より有志で荒谷流武道の稽古をするため、ご興味ある方はご連絡・ご参加いただければと思います。

次回のお知らせ

次回、憲法を起草する会は、1月22日(土)となります。また次回お会いできることを楽しみにしています。